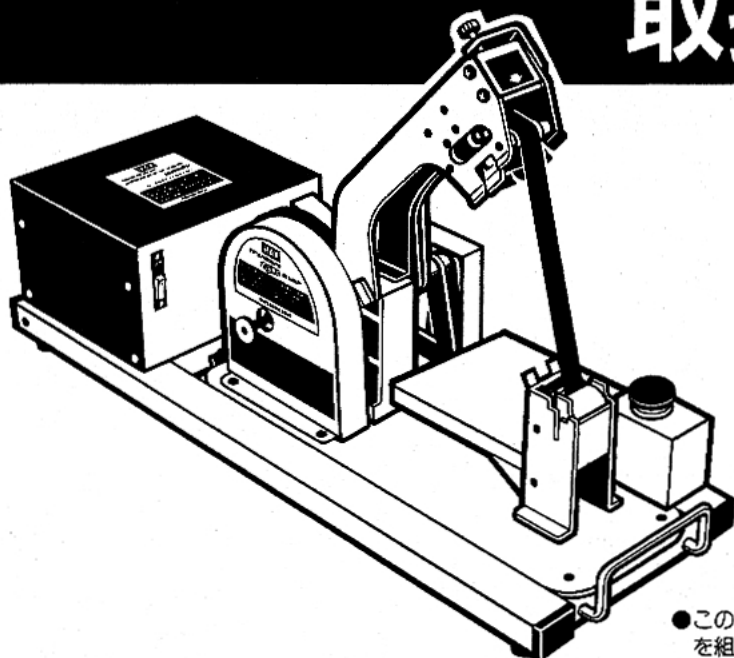


マックス野菜結束機

# おしまる 用パワーユニット HT-PU《A》

## 取扱説明書



●この絵はHT-PU(A)にHT-M2を組み付けた絵です。

### ⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 感電事故防止の為、アース線を必ず接地（アース）する。
- 雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所では絶対に使用しない。
- 指定電圧で必ず使用する。
- テープ装着・交換の時は必ず電源スイッチを「OFF」にして行なう。
- 電源スイッチ「ON」の時はテープつかみ部には手を絶対に置かない。
- 電源スイッチ「ON」の時はサポート板ユニットとアームユニット（L・R）の間に手を絶対に入れない。
- 電源スイッチ「ON」の時はリンクカバーの中に手を絶対に入れない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 濡れた手で絶対に機械に触れない。
- 使用後は電源スイッチを「OFF」にしてプラグをコンセントから必ず抜く。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上ため、予告なしに変更することがあります。

**MAX**®

このたびは、マックス野菜結束機おびまる用パワーユニット<HT-PU>をお買い上げいただきましてありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

⚠ 注意：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合を表しています。  
また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

## 目 次

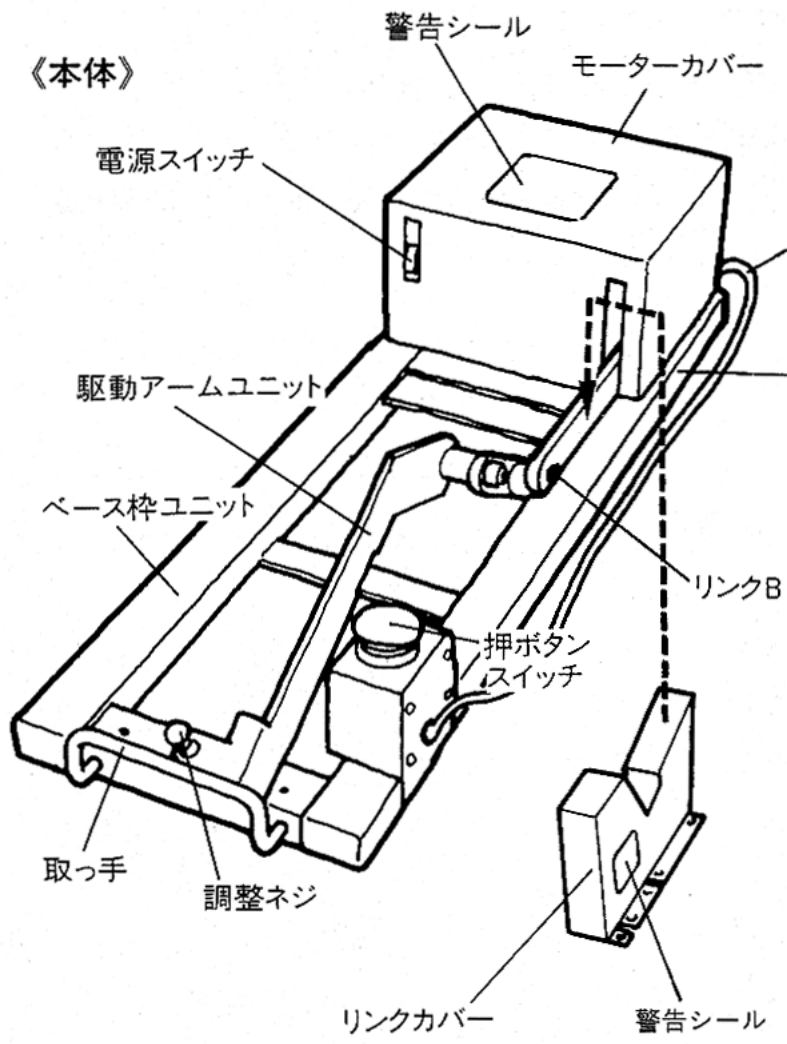
1. 各部の名称 .....	1
2. 安全作業のために .....	2
3. 仕様及び付属品 .....	9
4. 組立手順 .....	10
5. 使用方法 .....	18
6. 故障と思う前に .....	20
7. 性能を維持するために .....	21

全国販売拠点、サービス拠点一覧

# 1

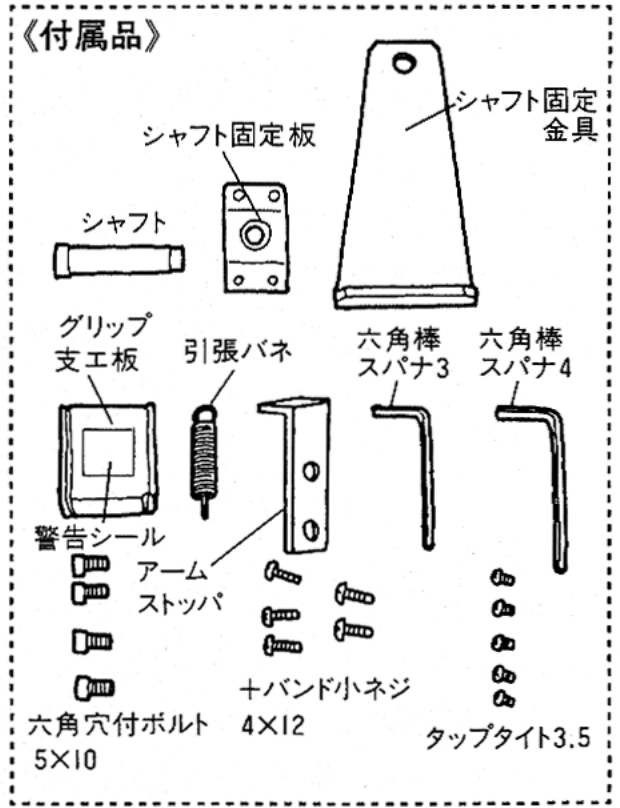
## 各部の名称

### 《本体》

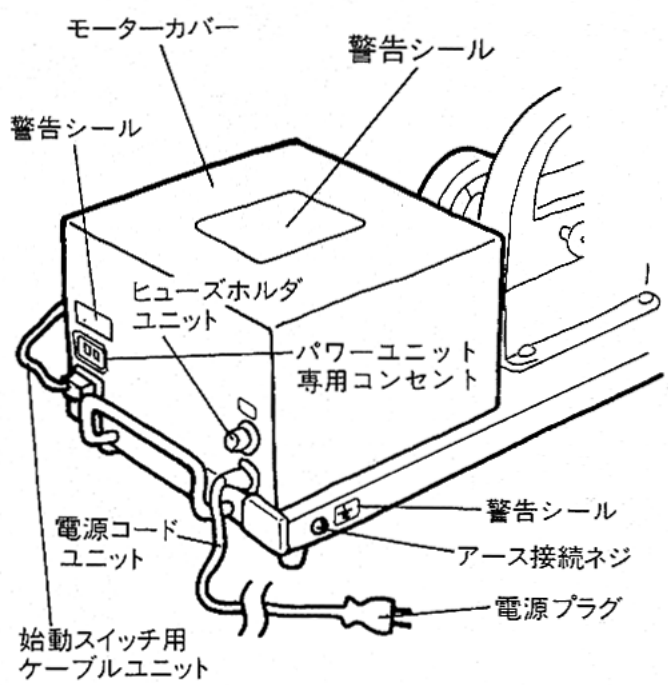


始動スイッチ用  
ケーブルユニット

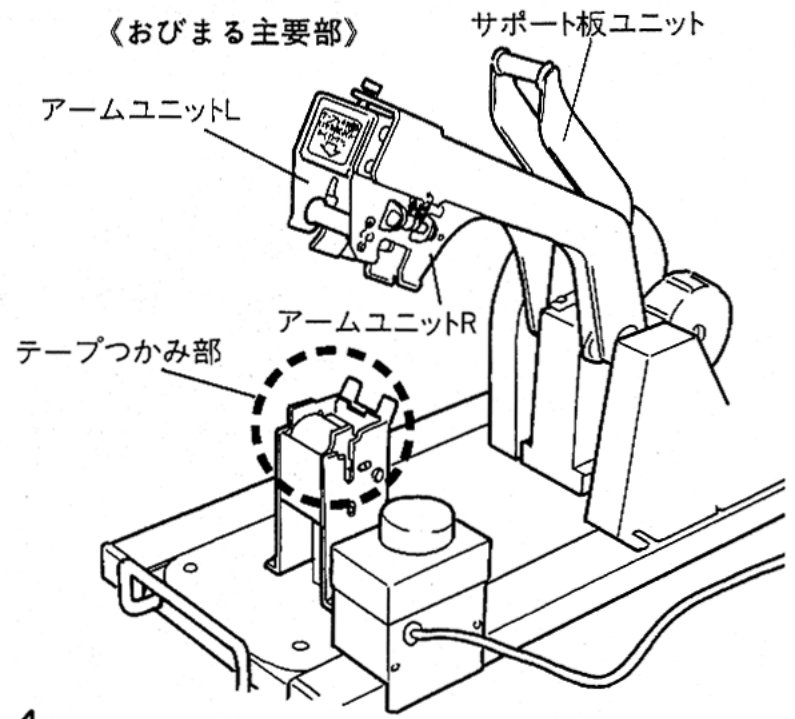
### 《付属品》



### 《後方》



### 《おびまる主要部》



本機は、野菜を結束する事を目的とした、おびまる〈HT-M2〉を電動にて使用するためのユニットです。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないで下さい。又、本機に触らせないでください。

**使用前**

- ① 雨の中や水のかかる場所、湿気の多い場所では絶対に使用しない。

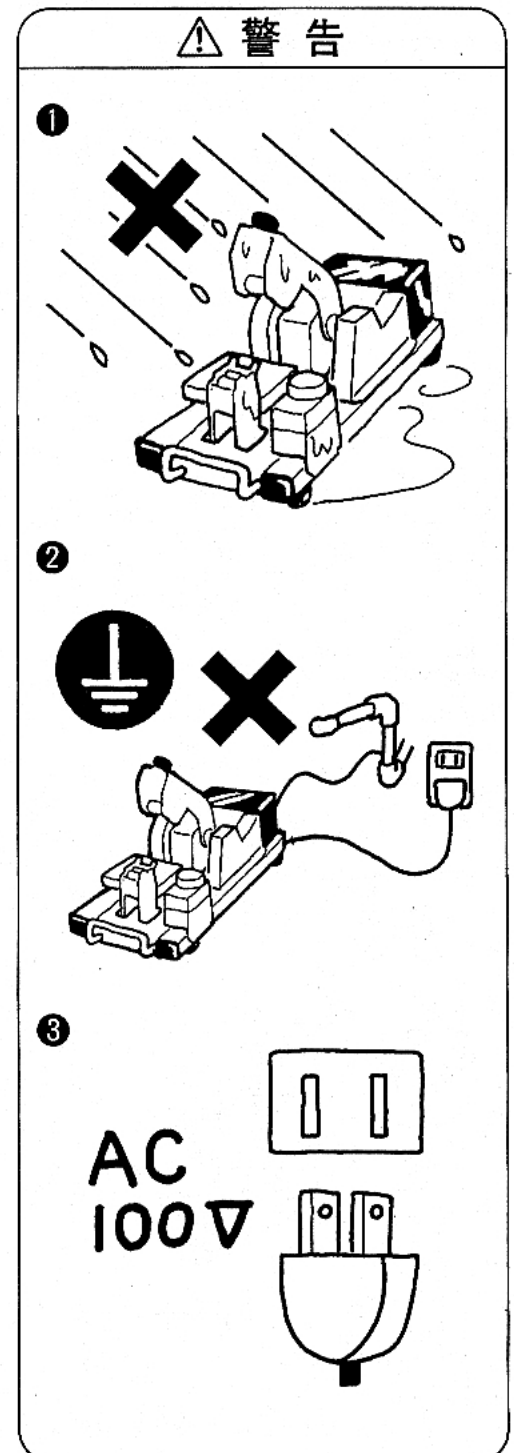
雨の中、水のかかる場所、湿気の多い場所、湿った場所では絶対に使用・放置しないでください。また、機械に水を絶対にかけないでください。感電事故やモーターの絶縁不良につながり、危険です。

- ② 感電事故防止の為、アース線を必ず接地（アース）する。

感電事故防止のため、アース線を必ず接地してください。なお、アース線をガス管等に取り付けることは、危険ですので絶対に行わないでください。

- ③ 指定電圧で必ず使用する。

必ずAC100Vのコンセントで使用してください。指定電圧以外の使用は故障の原因だけでなく発火、発熱の危険性がありますので絶対にしないでください。



④電源に昇圧機などのトランス類は絶対に使用しない。

故障の原因や焼損の原因になりますので絶対にしないでください。

⑤電源コードは大切に扱う。

電源コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりすると、電源コードを傷め、断線、短絡、(ショート)の原因になります。また電源コードが刃物類や高熱のもの、油、グリスなどに触れないように注意してください。電源コードが破損した場合は修理に出してください。

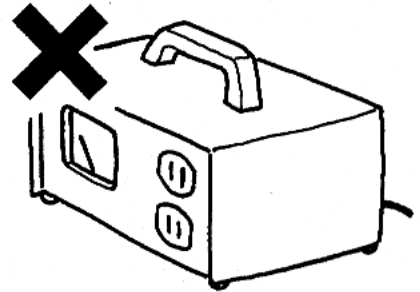
⑥火気には絶対に近づけない。

⑦揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

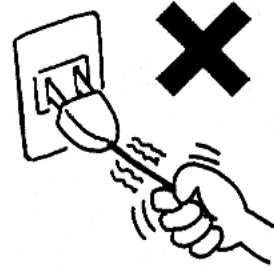
ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでの使用は、引火または爆発の恐れがあるので絶対に使用しないでください。

⚠ 警告

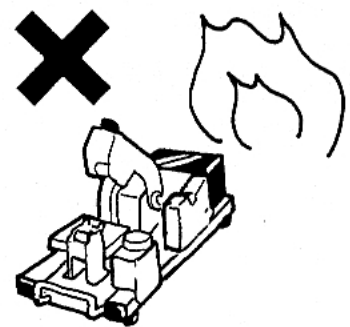
④



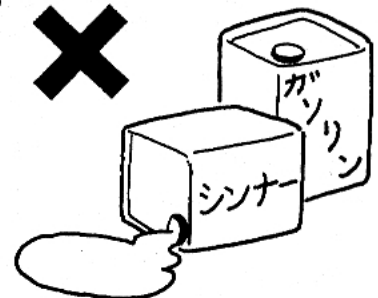
⑤



⑥



⑦



## 2

## ⚠ 警告

## 安全作業のために

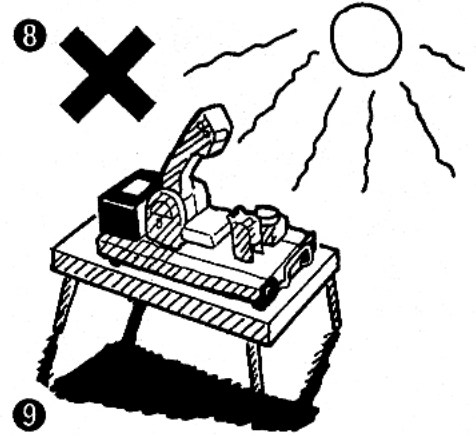
- ⑧ 直射日光を避け、必ず風通しのよい場所で使用する。  
直射日光の下で使用すると高温になり、焼損や火災の危険性がありますので絶対にしないでください。

- ⑨ 周囲温度が0°C～30°Cの範囲で必ず使用する。  
周囲温度が0°Cより低い場合、また30°Cを超える場合は十分な作動が出来ません。

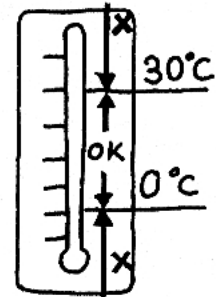
- ⑩ 機械は必ず安定した台、テーブルにおく。  
機械の落下による事故や機械損傷を避けるため機械は安定した作業台、テーブル、床に置いて使用してください。

- ⑪ 作業環境に応じた服を必ず着用する。  
作業環境に応じて、作業のし易い服を着用してください。

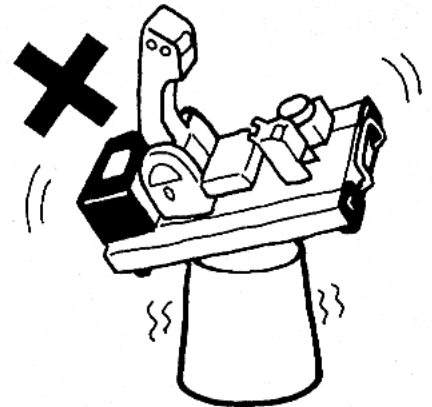
## ⚠ 警告



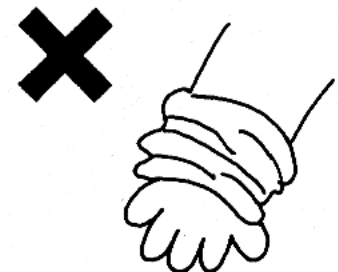
⑨



⑩



⑪



# 2

## 警告

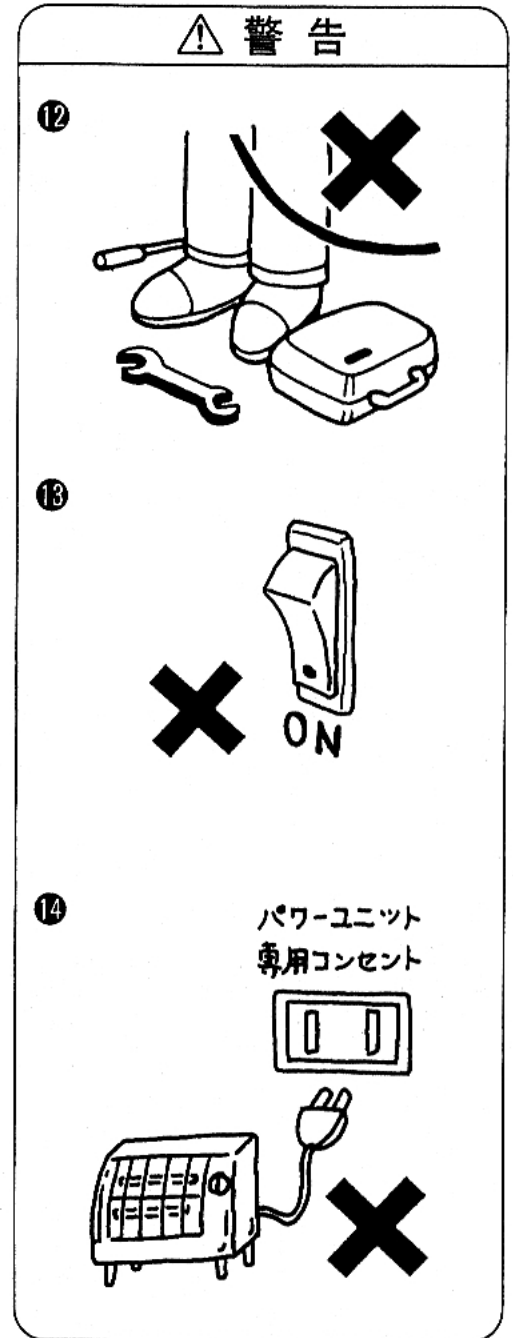
## 安全作業のために

### ⑫作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓して作業を行ってください。

### ⑬テープ装着・交換の時は必ず、電源スイッチを「OFF」にして行なう。

### ⑭パワーユニット専用コンセントで、他の電気機器を絶対に使用しない。



## 使用中

## ① 異常を感じたら絶対に使用しない。

機械の調子が悪い時、異常にお気付いた時は直ちに電源スイッチを切って（OFFにして）使用をやめ、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱に点検、修理に出してください。

## ② プラグは必ずコンセントの元まで入れて、電源スイッチを入れる。

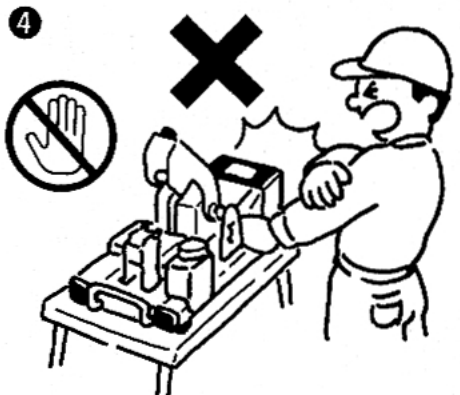
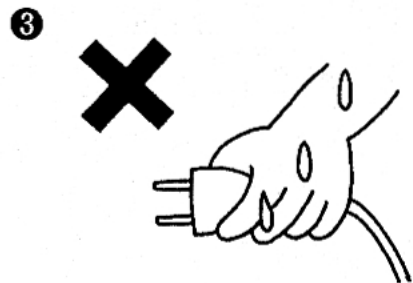
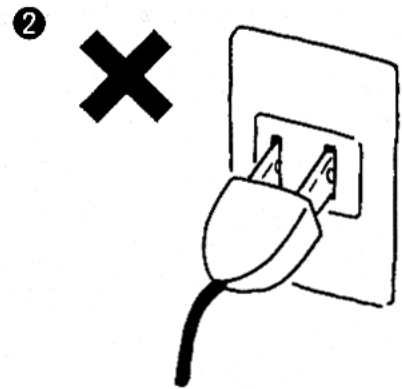
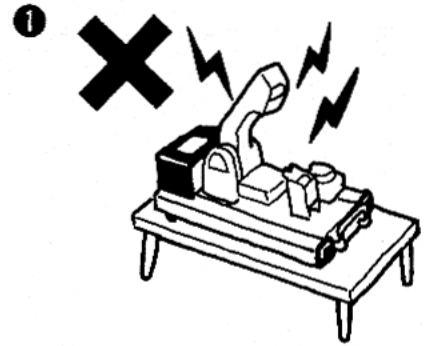
## ③ 濡れた手で絶対に触れない。

濡れた手で電源プラグ等を持つと、感電する恐れがありますので絶対にしないでください。

## ④ 電源スイッチ「ON」の時は回転部および機械摺動部には絶対に手を近づけない。

リンク部等に手が触れますと挟まれたり、巻き込まれたりして、怪我をすることがありますので絶対に手を近づけないでください。

## ⚠ 警告





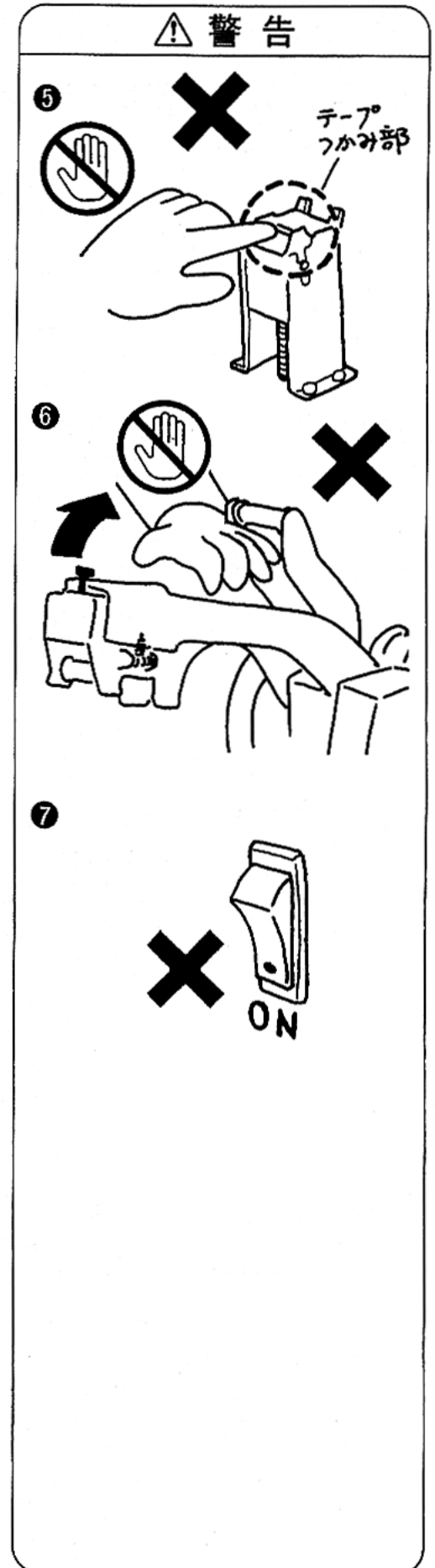
⑤電源スイッチ「ON」の時はテープつかみ部には絶対に手を置かない。

テープつかみ部に手が挟まれると怪我をすることがありますので絶対に手を置かないでください。

⑥電源スイッチ「ON」の時はサポート板ユニットとアームユニット（L、R）の間に絶対に手を入れない。  
サポート板ユニットとアームユニットの間に手が挟まれると怪我をすることがありますので絶対に手を入れないでください。

⑦休憩、食事等で機械から離れる時は、必ず電源スイッチを「OFF」にする。

短時間機械から離れる時も必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。



## 使用後

- ① 使用後は、必ず電源スイッチを「OFF」にし、コンセントからプラグを抜く。

使用後は、電源スイッチが「OFF」になっていることを確かめ、プラグを持ってコンセントを抜いてください。

- ② 本機を大切に手入れする。

より安全に性能を発揮させるため、作業後は必ず掃除を行い、野菜クズ、ホコリ、ゴミを取り除き、乾いた布で拭いてください。濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは絶対に使わないでください。

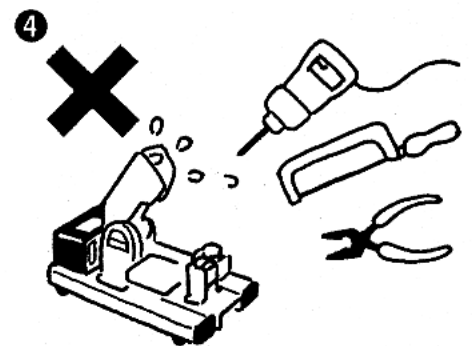
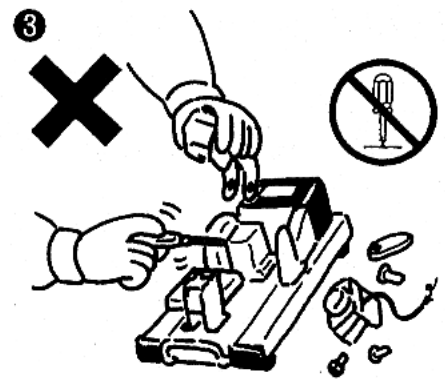
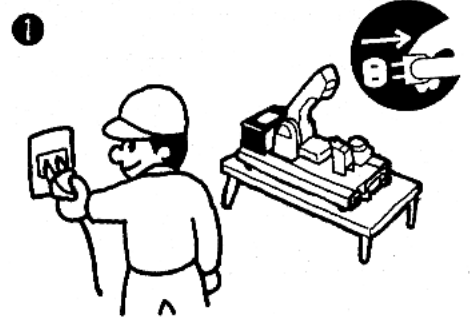
- ③ 本機を絶対に分解しない。

万一故障した時は、お買い求めの販売店、又はマックスサービス㈱に点検、修理に出してください。

- ④ 本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると本来の性能が発揮されないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に改造はしないでください。

## ⚠ 警告

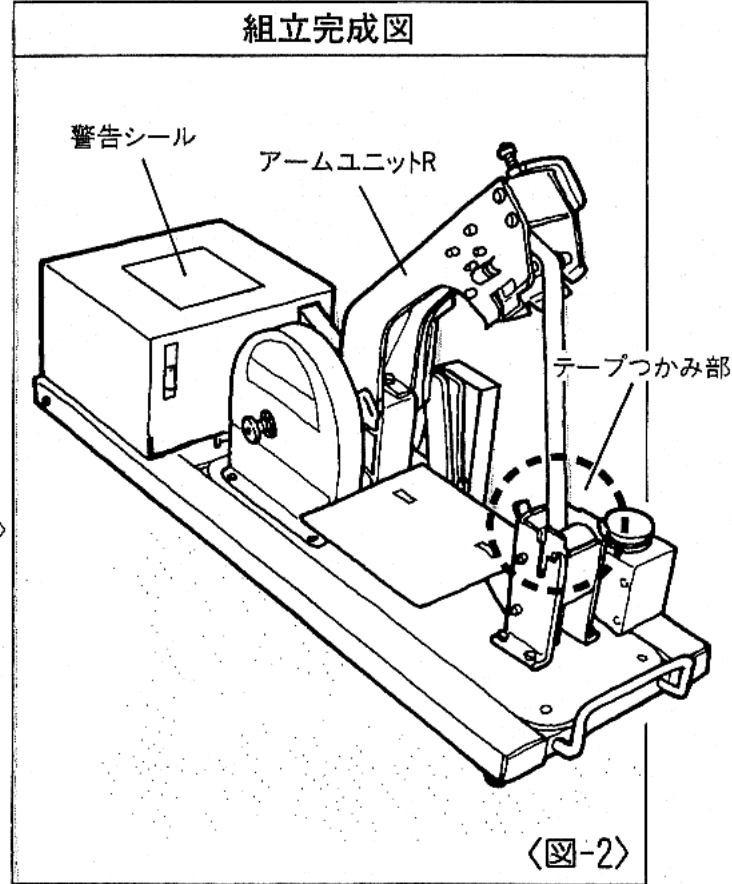
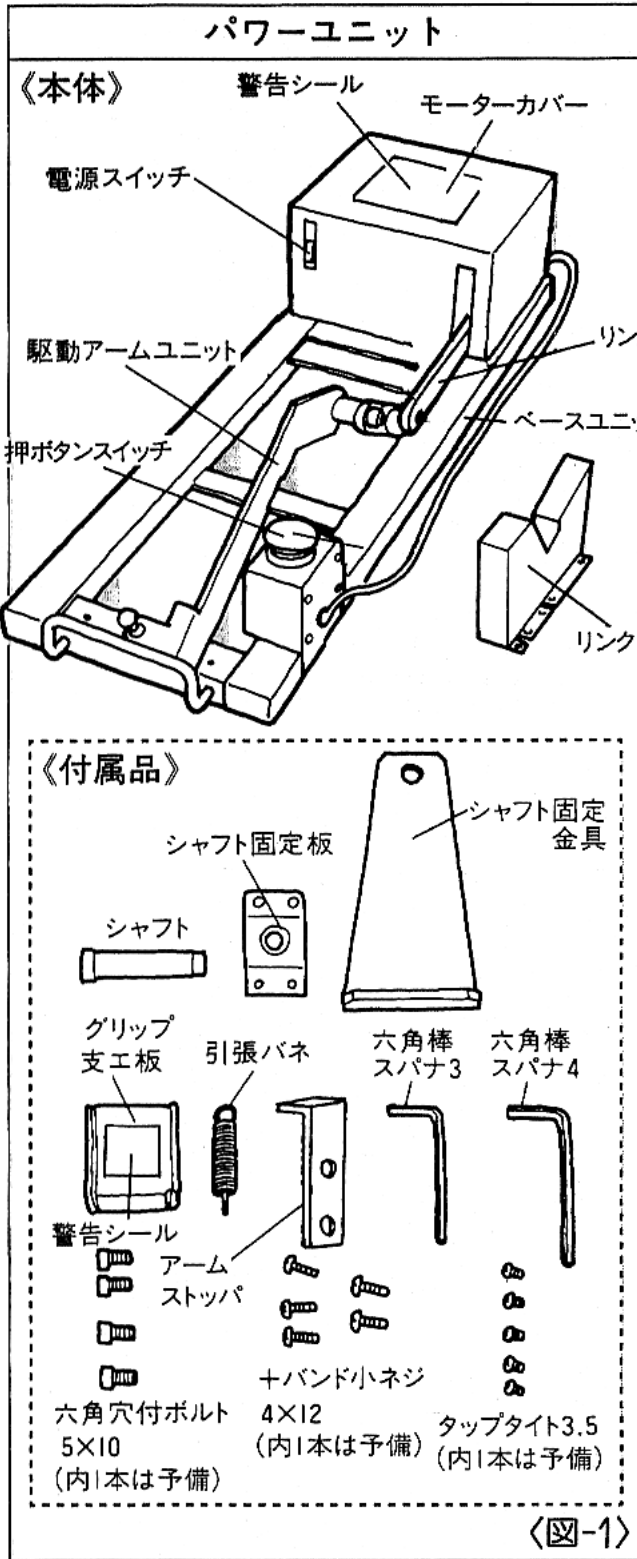


## 3

## 仕様及び付属品

商 品 名	マックス野菜結束機おびまる用パワーユニット
商 品 記 号	HT-PU (A)
寸 法	長さ720mm×巾236mm×高さ420mm (HT-M2セット時)
重 量	10kg (HT-M2セット時17kg)
電 源	AC100V、50/60Hz
消 費 電 力	最大55W
ヒューズ	1A (ガラス管)
電源コード	3m
結 束 速 さ	1.2秒 (50Hz)、1.0秒 (60Hz)
付 属 品	シャフト固定金具、シャフト、シャフト固定板、グリップ支工板、アームストッパ引張バネ3157、+、バインド小ネジ4×12 (5ヶ)、タップタイト3.5 (5ヶ)、六角穴付ボルト5×10 (4ヶ)、六角棒スパナ3、六角棒スパナ4、アース線

# 4 組立手順



- 梱包ケースの中には左記付属部品（左図以外にアース線）が入っていますので、開梱しましたら確認してください。
- 組立手順は、上記組立完成図を参照して行ってください。

## ⚠ 警告

- コンセントからプラグを抜いて作業を行なうこと。

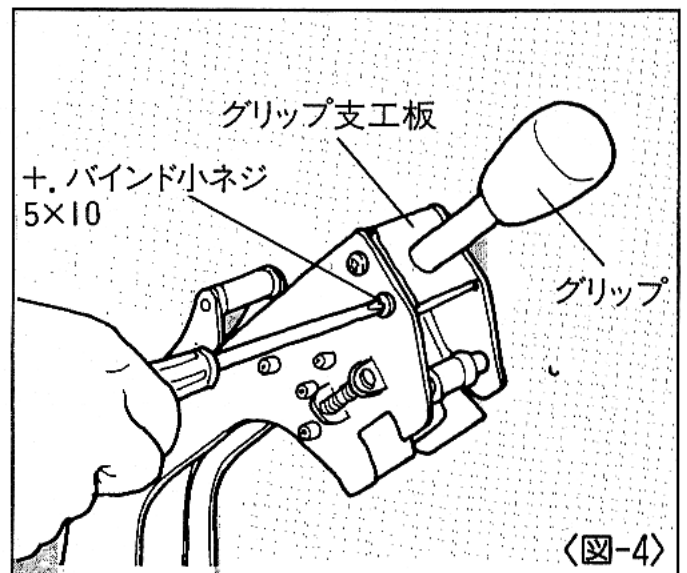
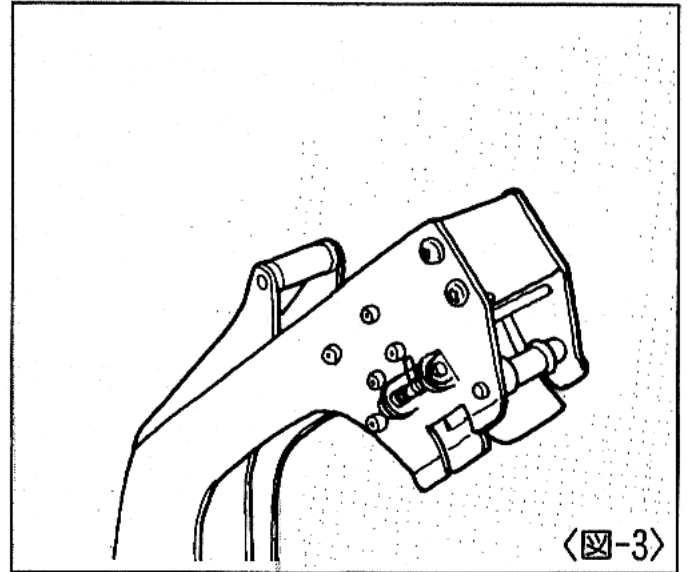


## 1) HT-M2の下準備

HT-M2をパワーユニット (HT-PU) に組み込む前にまず、HT-M2の下準備をお願いします。

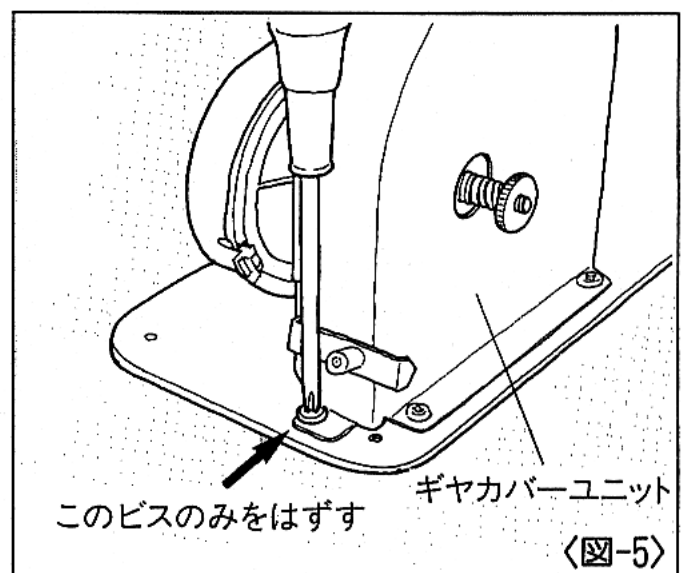
### ①グリップ取りはずし

グリップ支工板を固定している+.バインド小ネジ5×10 4本をはずし、グリップ支工板ごとグリップ部分をはずします。次に付属のグリップ支工板を取り付けます。 〈図-3〉 〈図-4〉



### ②ギヤカバーユニット取付ビスの取りはずし

ギヤカバーユニットを取り付けている+.バインド小ネジ5×10の後の1本を取りはずしておきます。 〈図-5〉



### ③シャフト取り付け

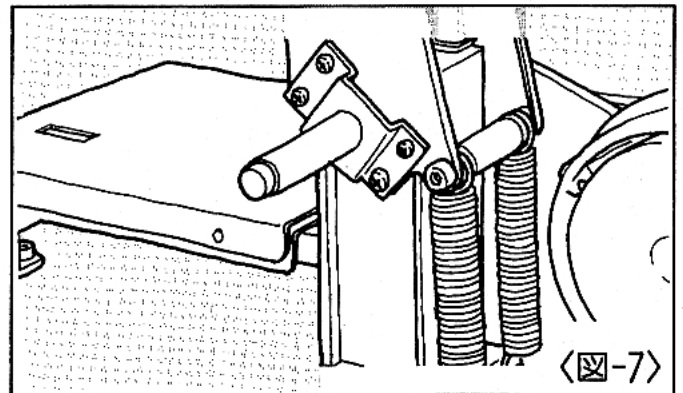
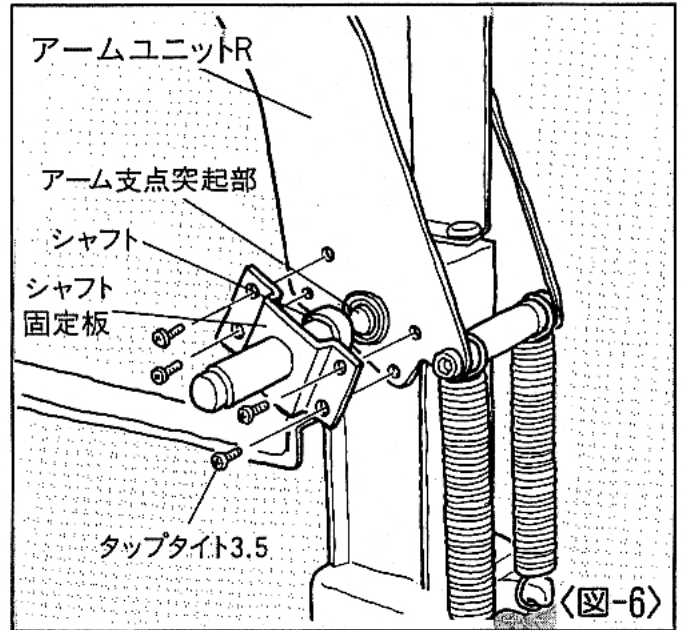
シャフト固定板をシャフトに差し込み、HT-M2のアームの支点の突起部にシャフトの凹部を当て、タップタイト3.5 4本でHT-M2のアームユニットRに固定します。 <図-6> <図-7>

#### ⚠ 注意

●シャフト固定板は方向性がありますので、アームユニットRの4つの下穴と合わせてみて、合う向きで取り付けを行ってください。

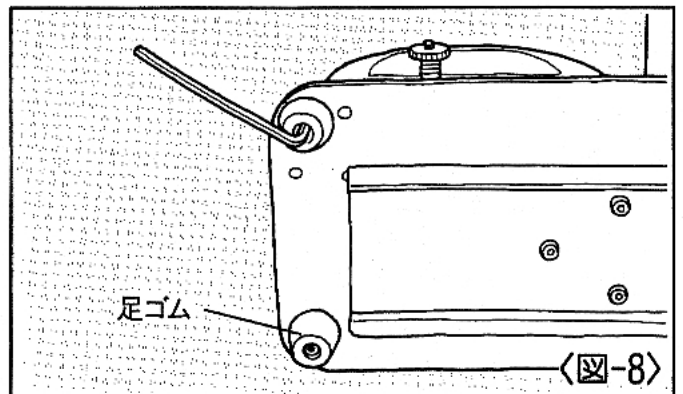
#### ⚠ 注意

●ネジ込みの際、強く締め過ぎますと、ネジ山がつぶれる恐れがありますので適宜な力で締め込んでください。



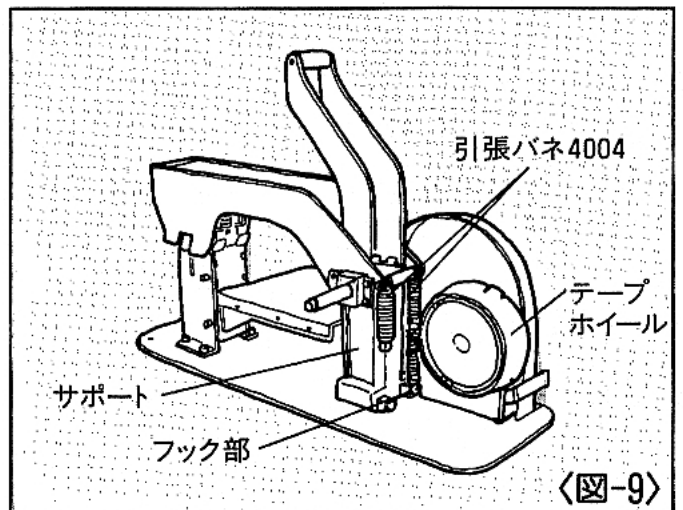
### ④足ゴムの取りはずし

付属の六角棒スパナ4で足ゴム4ケを取りはずします。 <図-8>



### ⑤引張バネ4004のはずし

引張バネ4004のシャフト側のみをはずしておきます。 <図-9>

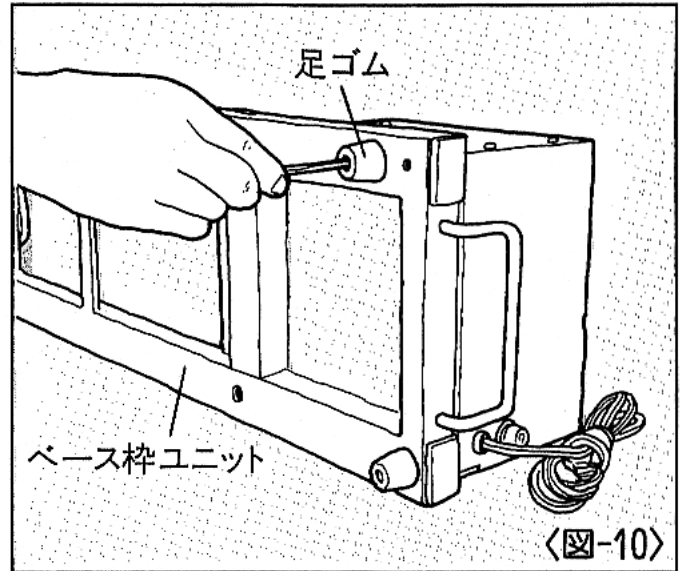


## 2) パワーユニットへのHT-M2の組み込み

### ①足ゴムの取付け

〈図-8〉で、HT-M2より取りはずしました足ゴムをパワーユニットのベース枠ユニットの裏側へ取り付けます。

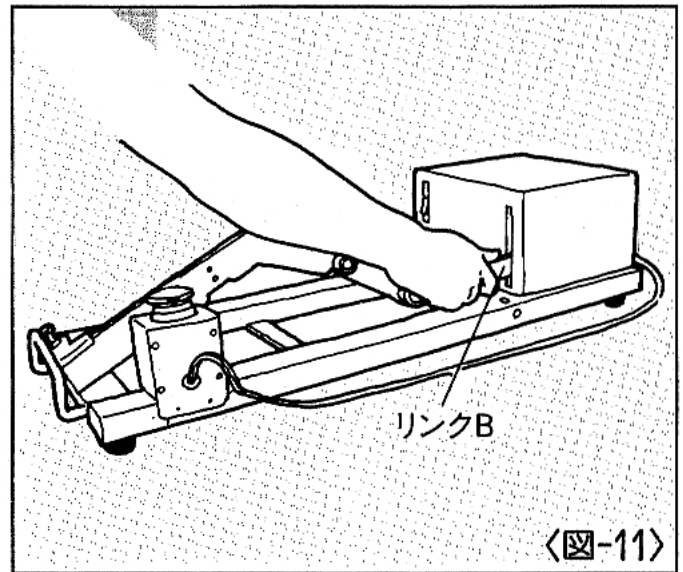
〈図-10〉



### ②パワーユニットへのHT-M2の設置

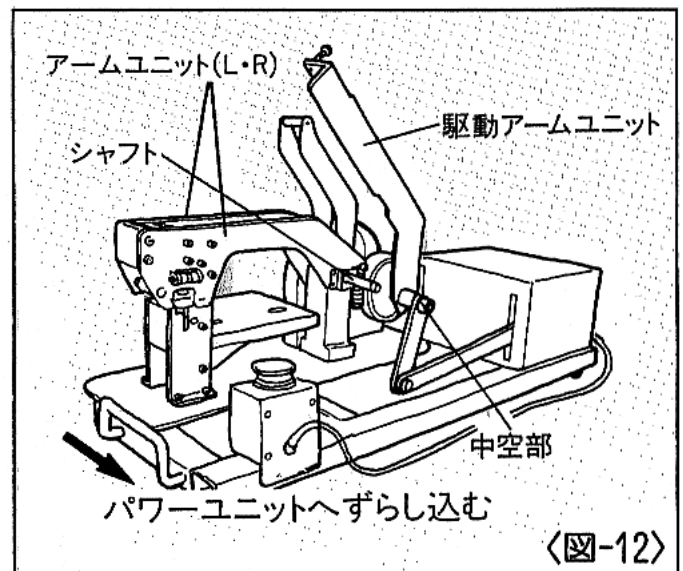
リンクBが引っ込んでいる場合がありますので、まず、リンクBを手前に引き出してください。

〈図-11〉



次にHT-M2に図-6、7で組付けましたシャフト部分を駆動アームユニットの中空部に差し込みながら、HT-M2を横からずらし込む様にパワーユニットに乗せます。

〈図-12〉

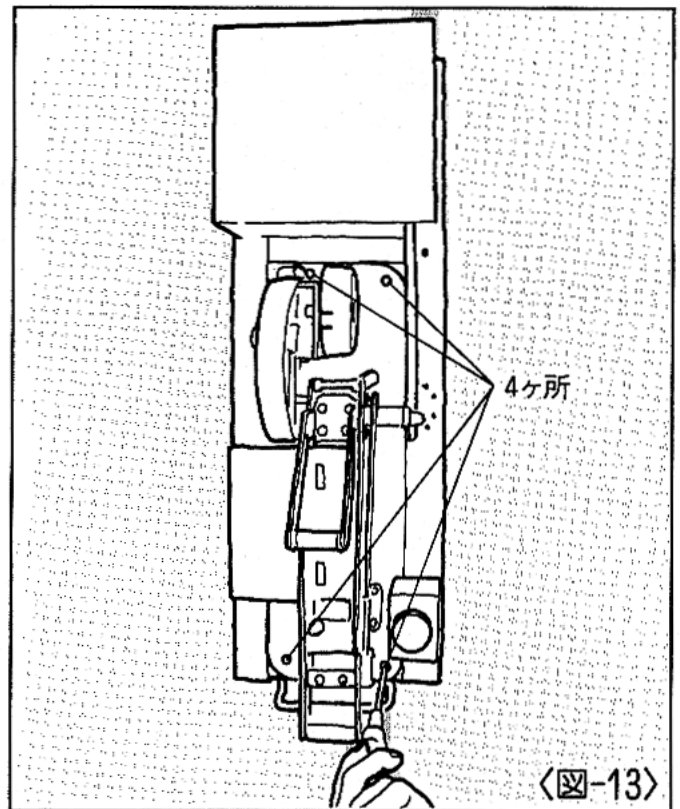


### ⚠ 注意

- HT-M2をパワーユニットに乗せる際、HT-M2のアームユニット(L・R)を下げた状態にし、逆にパワーユニットの駆動アームユニットは上った状態にして設置してください。

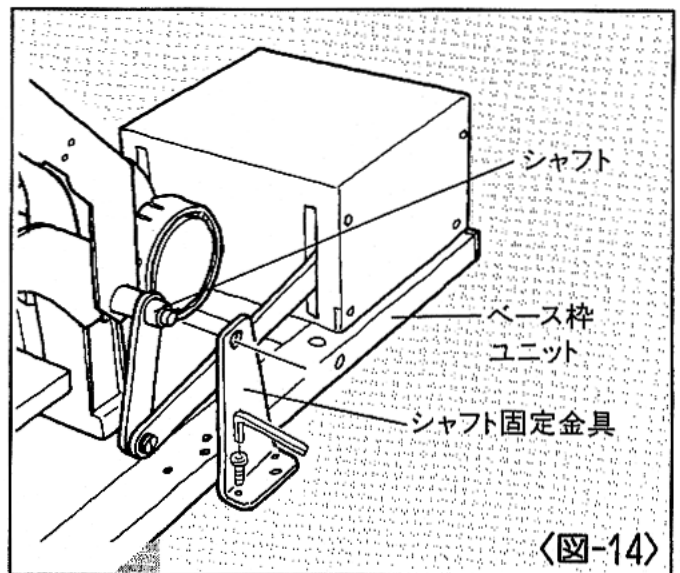
### ③HT-M2のパワーユニットへの固定

HT-M2の足ゴムの取り付けにいたベース穴3ケと〈図-5〉で取りはずしたギヤカバーユニットの取り付けネジの穴と計4ケの穴を使用しパワーユニットへ付属の+.パインド小ネジ4×12で固定します。  
〈図-13〉



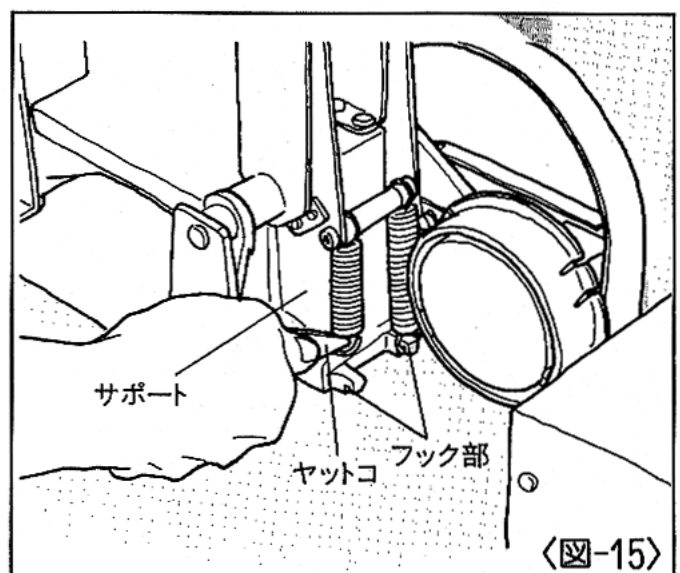
### ④シャフト固定金具の取付け

〈図-12〉で組付けましたシャフトにシャフト固定金具を差し込みます。そして付属の六角穴付ボルト5×10(3本)でシャフト固定金具をベース枠ユニットへ固定します。  
〈図-14〉



### ⑤引張バネのフックへの引掛け

引張バネをサポートのフック部にヤットコ (HT-M2の付属工具) を使い引掛けます。  
〈図-15〉



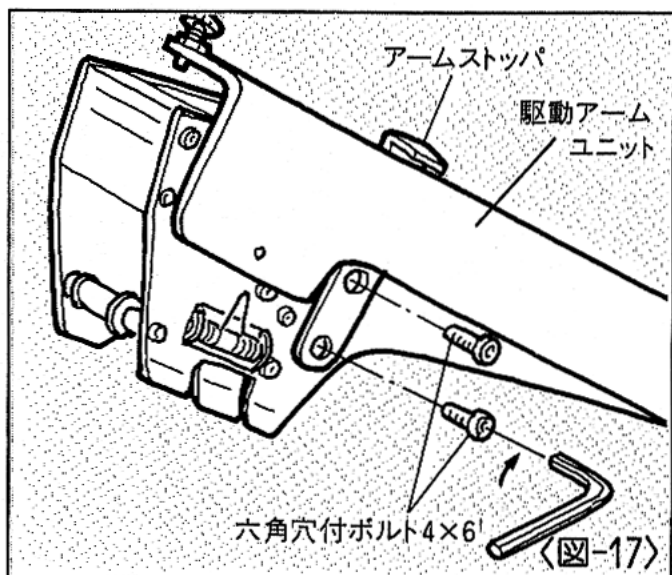
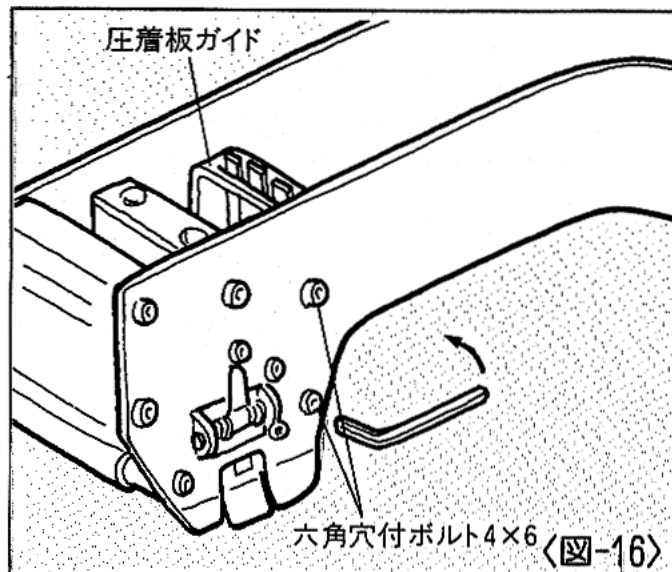


### ⑥アームストップの取り付け

HT-M2の圧着板ガイドを止めている六角穴付ボルト4×6の駆動アームユニット側のみ2本を付属の六角棒スパナ3で取りはずします。

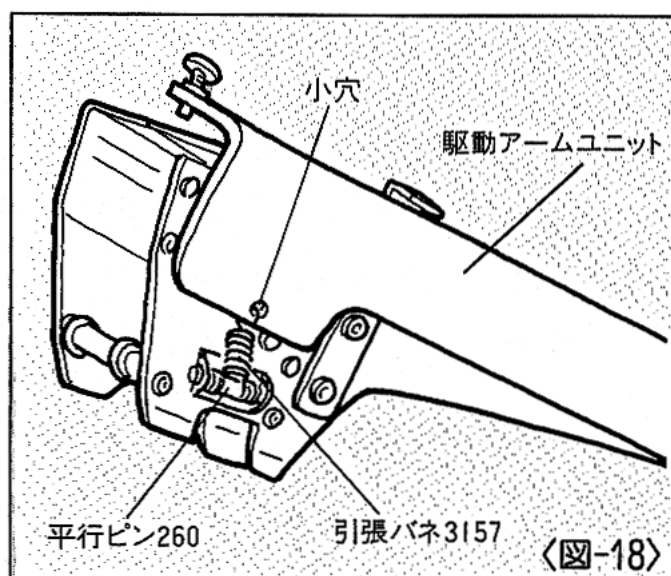
次に、その取りはずした穴を利用し、アームストップを取り付けます。

〈図-16〉 〈図-17〉



### ⑦引張バネ3157の取り付け

引張バネ3157を駆動アームユニットの小穴とHT-M2の平行ピン260の中心部を利用し、引っ掛けます。 〈図-18〉





●コンセントからプラグを抜いて作業を行なうこと。

### 3) 調整

組付けが完了したら調整を行なってください。

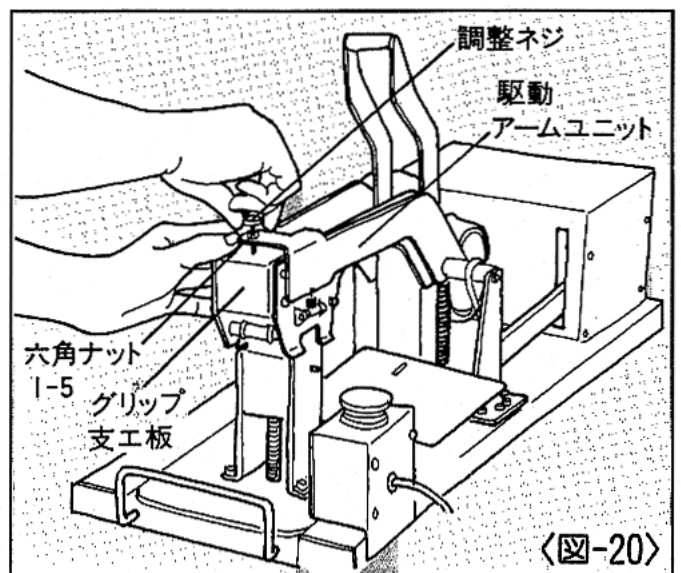
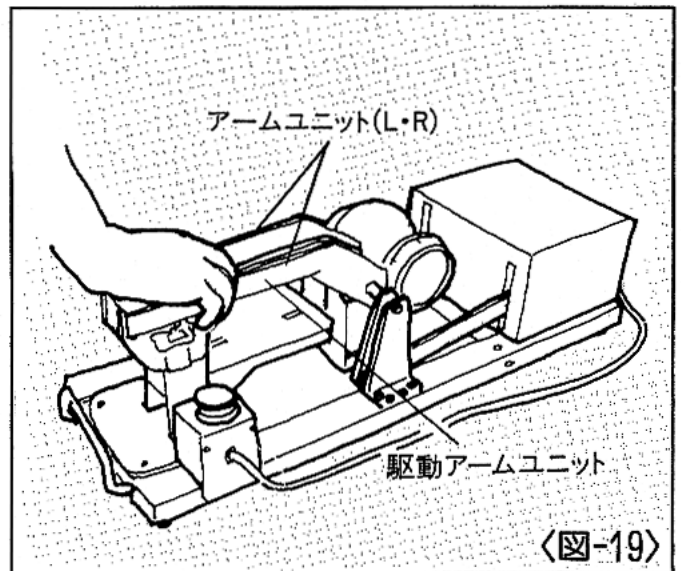
まず駆動アームユニットの先端に付いている調整ネジ部の六角ナット1-5を緩めておいてください。

次にHT-M2の駆動アームユニットを押し下げた状態にし、更に左手でHT-M2のアームユニット(L・R)を最後まで押し下げます。そこで調整ネジの先端がHT-M2のグリップ支工板に当たるまで調整ネジを回します。調整ネジの位置が決まりましたら六角ナット1-5でロックしてください。

一度調整しましたらテープを装填し、テストをしてください。(テストは後記使用方法を参照してください。)

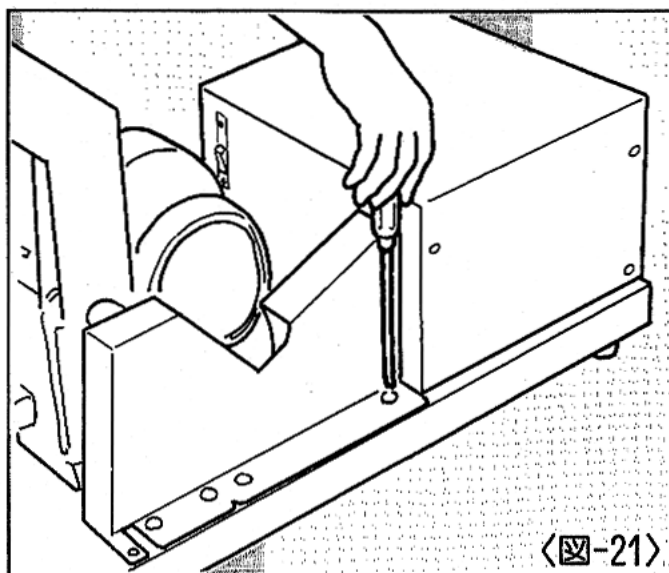
テープの切れが悪い時は更に調整ネジを締込んでください。またつかみローラーを傷付ける様でしたら、調整ネジを緩めてください。テストしてOKでしたら再度六角ナット1-5でロックし固定してください。

〈図-19〉 〈図-20〉



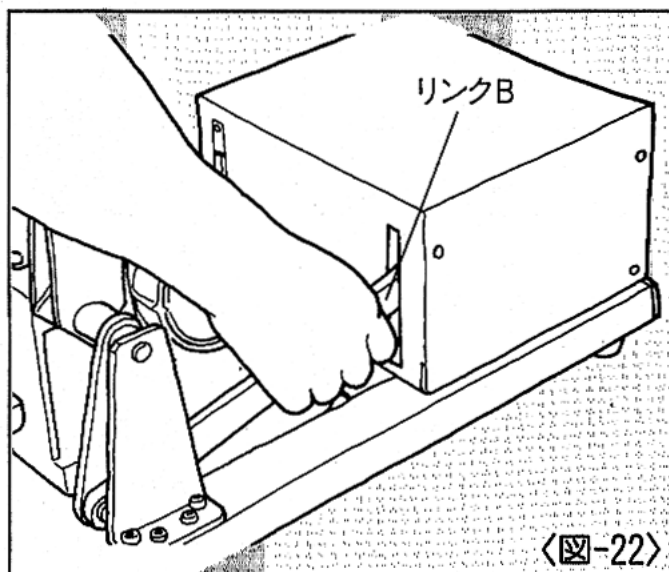
#### 4) リンクカバーの取り付け

調整が終了しましたらリンクBにリンクカバーを+.バインドネジ5×10で本体に取り付けて下さい。 〈図-21〉



#### ⚠ 注意

- 調整ネジをネジ込み過ぎますとストロークオーバーとなり、HT-M2のつかみローラを傷つけたり、耐久性も悪くなります。又調整ネジのネジ込みが不足ですと、最後まで行かないでテープが切れないという現象が出ます。その点を注意し調整を行なってください。
- 駆動アームユニットが手で動きにくい時はリンクBを持ち上げる様にして動かしてください。 〈図-22〉



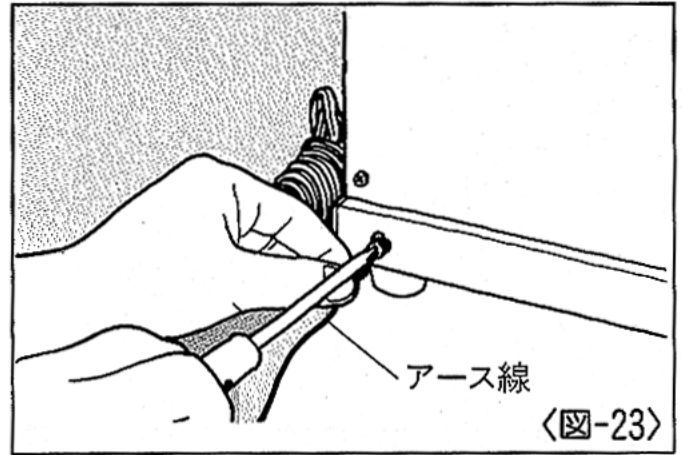
# 5 使用方法

電源プラグがコンセントに差し込まれていないこと、電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

## ①アースの取り付け

作業場所が決まりましたら、アースを取り付けてください。

まず、アースコードをベース枠ユニットの左後端にある+ バインド小ネジ5×10で止め、もう一方のコードの端を、地面に接地してください。 <図-23>



### ⚠ 警告

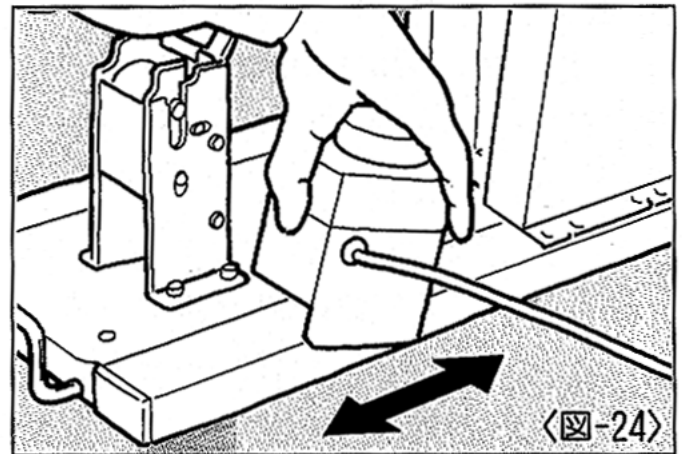
- 感電事故防止の為にアース線を必ず接地（アース）する。



## ②押ボタンスイッチの位置決め

押ボタンスイッチの裏がマグネットになっておりますので、コードの届く範囲内で任意の位置に設定してください。

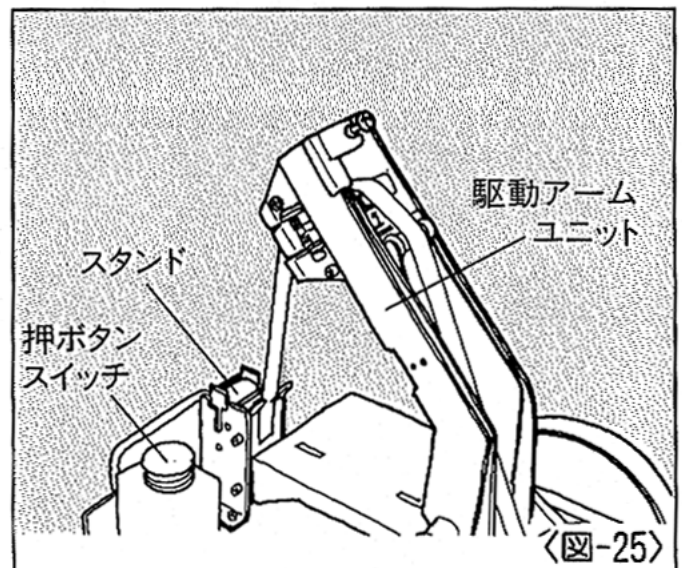
<図-24>



## ③テープの装着

テープの装着はHT-M2の取扱い説明書のテープの入れ方の所を参照してください。

テープを引き出してきまして、手に持ったテープの先端をスタンドの内側に貼り付けます。 <図-25>

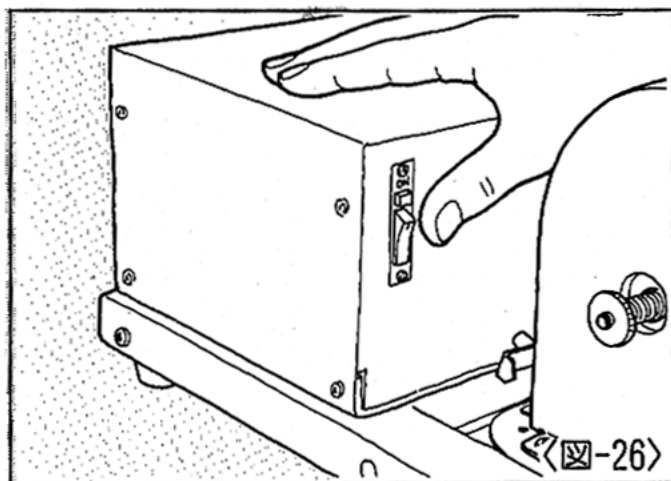


### ⚠ 警告

- テープ装着時は必ず電源スイッチを「OFF」にして行なう。

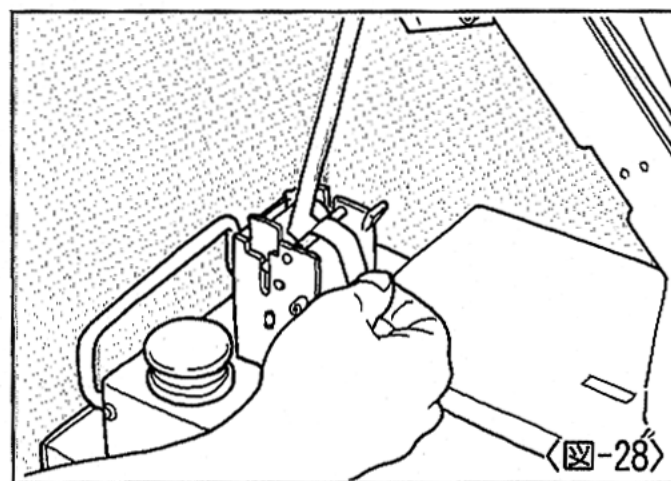
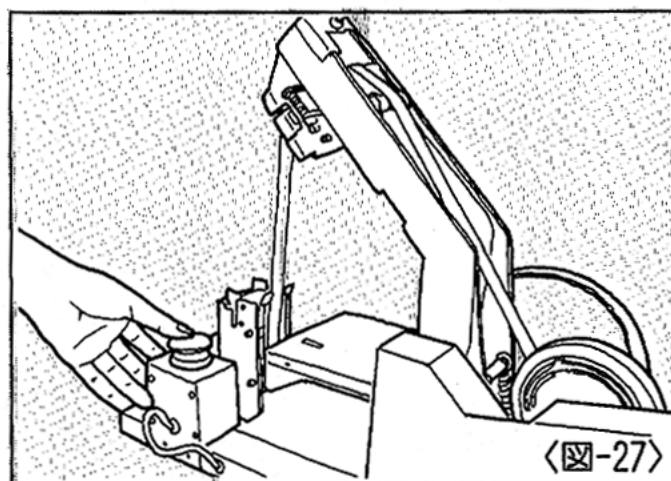
次に電源プラグをコンセントに差し込み  
電源スイッチを「ON」にしてください。  
パイロットランプが点灯します。

〈図-26〉



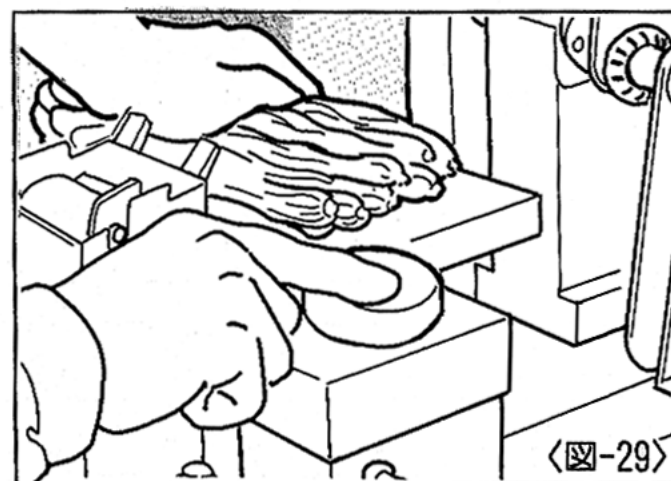
押ボタンスイッチを押し空結束させ、テ  
ープをテープつかみ部につかませます。  
後は、スタンドの内側に残ったテープの  
切れ端を除けば、これで準備完了です。

〈図-27〉 〈図-28〉



## ⑥ 操作の仕方

結束物を入れ、あとは押ボタンスイッチ  
を押せば結束できます。 〈図-29〉



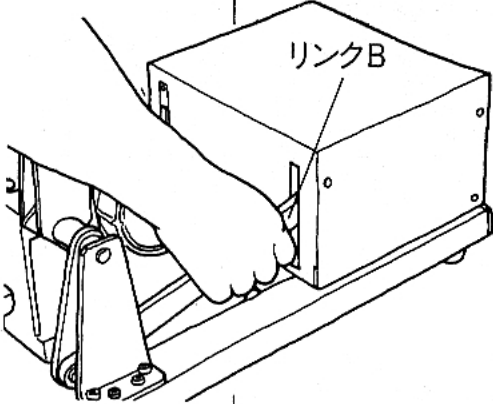
# 6 故障と思うまえに

## ⚠ 警告



●コンセントから電源プラグを必ず抜いて作業を行なうこと。

起きている現象	点検内容	対応内容
1. 正規の操作を行なっても機械が作動しない。	<p>電源スイッチ部のパイロットランプが点灯していますか</p> <p>①点灯していない。</p> <p>●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか</p> <p>●ヒューズは切れていませんか</p> <p>②点灯している</p>	<p>電源プラグをコンセントに差し込みなおしてください。</p> <p>ヒューズ（ガラス管ヒューズ1A）を交換してください。</p> <p>駆動アームユニットの停止位置によっては、作動しない場所があります。電源プラグを抜き、リンクカバーをはずしリンクBを手で持ち上げる様にして駆動アームを一番下に降ろした状態にしてください。</p> <p>次にリンクカバーをつけ、電源を入れ、電源スイッチを「ON」して、押ボタンスイッチを押してください。これでアームは復帰し、後は正常な作動をします。</p> <p>上記操作を行なっても機械が作動しない場合があります。これは、モーターに内蔵されている焼損防止回路が働いたためです。</p> <p>モーター内の温度が下がれば作動しますのでモーター内の温度が下がるまでお待ちください。</p>
2. 本機作動中に電源コードが抜けたり本機に物がはさまり、作動途中で停止した時		<p>ただちに電源スイッチを「OFF」にしてください。そしてはさまった物を取り除き、電源スイッチを「ON」して、押ボタンスイッチを押してください。これでアームは復帰します。</p> <p>この操作を行なってもアームが復帰しない時は、一旦電源を「OFF」にして、上図の様に駆動アームの位置をずらし、上記の操作をくり返し行なってください。</p>
3. テープが切れない	<p>HT-M2が最後まで降りているか</p> <p>①最後まで降りている。</p> <p>②最後まで降りていない。</p>	<p>HT-M2のカッタを交換してください。</p> <p>駆動アームユニットの調整ネジを調整し、HT-M2のアームユニット(L・R)が最後まで降りる様にしてください。</p>



## ⚠ 警告

●機械の異常を感じたら使用を中止し、点検・修理に出すこと。

# 7

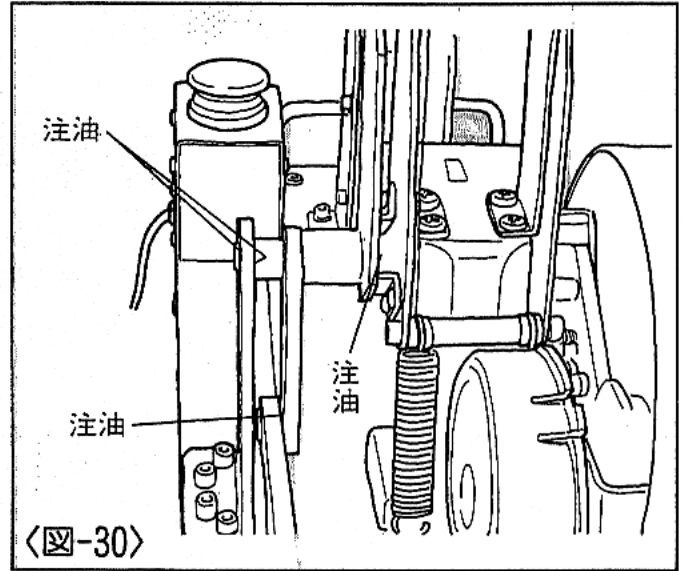
## 性能を維持するために

### ①注油する。

本機の性能を維持する為に右図の場所に、時々注油してください。

油はマシン油またはシリコンオイルをお使いください。なおHT-M2の注油場所についてはHT-M2の取扱説明書を参照してください。

〈図-30〉



### ②定期的に点検する。

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店、又はマックスサービス株式会社にお申しつけください。